

16th Wine and Cheese Seminar

仁科記念賞ダブル受賞祝賀会

「ミューニュートリノビームからの電子ニュートリノ出現事象の発見」

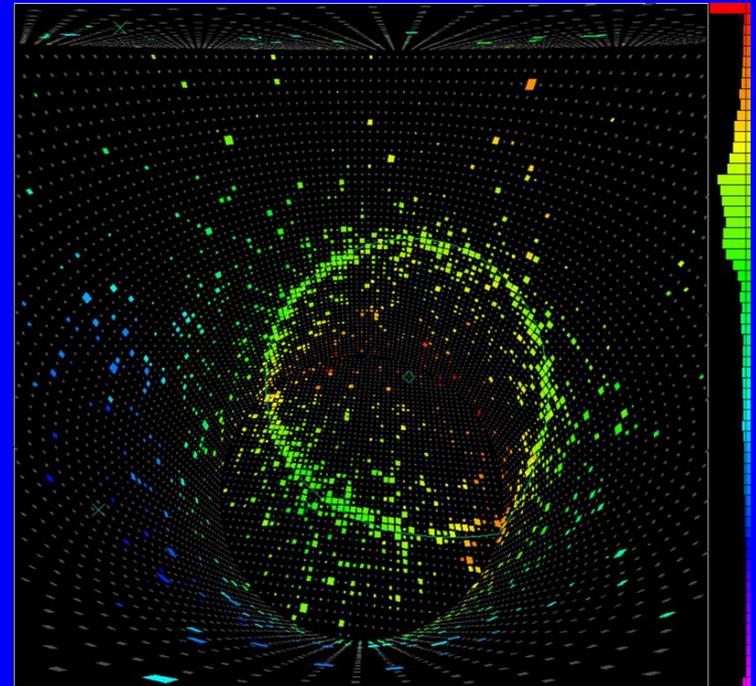
講師：中家 剛 教授(高エネルギー実験)

日時：1月7日(水)午後4時50分～

場所：理学部5号館5階 第4講義室(525号室)

T2K実験によって発見された、ミューオンニュートリノから電子ニュートリノへの振動現象について講演する。ニュートリノ振動において、振動後のフレーバーを同定した測定(出現現象の観測)は初めてのことであり、この発見により今後ニュートリノにおける粒子・反粒子対称性(CP対称性)の研究が可能となった。

講演では、T2K実験の草案、建設、データ収集、物理解析、そこでの京都大学メンバーが果たした役割を説明する。最後に、ニュートリノにおけるCP非保存発見に向けた将来計画を紹介する。



※ ワインとチーズでの歓談は午後4時30分より理学部5号館4階の 413号室で行います。